

# インフルエンザ予防接種の諸注意について

- 1 他の予防接種との関係：新型コロナワクチンとの同時接種はできます。それ以外のワクチンとの同時接種は、医師が必要と認めた場合に限りです。
- 2 予防接種を受けること：
  - ・明らかな発熱（37.5 度以上）のある方
  - ・重篤な急性疾患にかかっている方が適当でない方
  - ・過去に予防接種でアナフィラキシーを起こした方
  - ・その他医師が不適当と判断した方
- 3 予防接種受ける場合：
  - ・心臓血管系疾患、腎臓病、肝臓病や血液の病気などの方
  - ・風邪のひきはじめ
  - ・前に予防接種を受け、2 日以内に発熱、発疹等の異常がみられた方
  - ・薬や食事で皮膚に発疹が出たり、身体に異常があった方
  - ・今までにけいれんを起こしたことがある方
  - ・過去に本人や近親者で先天性免疫不全と診断されたことのある方/
  - ・家族の中で、麻疹、風疹、おたふくかぜ、水痘（みずぼうそう）等の病気が流行している時で、まだその疾患にかかったことがない方。
  - ・気管支喘息のある方<sup>※裏面あり</sup>
4. ワクチンの効果と副反応：ワクチンの効果が現れるまでに2～4週間程度かかります。  
接種後、接種部位が赤くなったり、硬くなったりすることがありますが、通常2～3日で消失します。発熱や頭痛、悪寒、倦怠感などの症状が見られることもあります。非常にまれですが、ショック、アナフィラキシー様症状（じんましん、呼吸困難など）やけいれん、肝機能障害、喘息発作などの重大な副反応が見られることがありますので、異常な症状が出た場合は、速やかに医師の診察を受けてください。
5. 予防接種を受けた後の注意：
  - ①インフルエンザワクチンを受けたあと30分間は、病院にいるなどして様子を観察し、医師とすぐに連絡をとれるようにしておきましょう。
  - ②インフルエンザワクチン接種後、24時間は副反応の出現に注意しましょう。
  - ③接種当日の入浴は差し支えありませんが、注射した部位をこすことはやめましょう。
  - ④接種当日は接種部位を清潔に保ち、激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。
  - ⑤万一、高熱やけいれんなどの異常な症状が出た場合は、速やかに医師の診察を受けてください。